

赤十字の看護師キャリア開発ラダー 各レベルの到達目標と研修計画

2023（令和5）年2月

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
到達目標	マニュアルを見たり、助言を受けながら、日常ケアに必要な基本的知識を活用し、優先度を決定することができる。看護師の倫理綱領を知っており、対象を一個人として尊重できる。自分の役割と責任を認識しながらも、自分の能力を超えた看護が求められる場合には、支援や指導を自ら得たり、業務内容について相談できる。倫理的ジレンマに陥った時、赤十字の原則に基づいて行動しようとしている。（助言や指導を得ながら看護活動ができる—新人レベル）	専門領域における知識を深め、対象の優先度を考慮した整合性のある計画を自力でたて、実践することができる。自ら、受け持ち患者にかかる医師やメディカルに提案したり、倫理的問題に気づくことができる。目標を持って、自己教育や研究活動を行い、新卒看護師の心理的な支援ができる。災害救護演習等で救護活動の実践能力を培うよう努めている。（部署内で自立して看護活動ができる—1人前）	様々な知識を活用しながら、対象の個性や優先度を考慮した計画をたてて看護をすることができる。看護部門の目標を意識しながら、部署のリーダーシップを取ることが出来、研究計画書の立案や業務改善に積極的に取り組み、同僚の教育指導にかかわることができる。赤十字看護師として必要な研修を受講し、さらに任務と心構えを理解し、救護活動を実践できる状態にある。	対象のおかれている状況を、関連する知識を統合し包括的に捉え、独自の意思決定基準を持ちながら、予測困難な場面にも臨機応変に対応することができる。判断と行為が同時に進行し、看護専門職としての役割モデルとして、また、赤十字運動の推進者として、スタッフに影響を与える存在である。看護部の目標を踏まえ、職場内の活性化に貢献できる。研究活動においては、中心的役割を果たし、教育活動においても教育技法を駆使し対象に応じた意図的なかかわりができる。（看護部門単位で活動できる）	瞬時に直観的に、対象や家族のニーズや複雑な現象を捉え、かつ的確にねらいを定め、対象や家族をエンパワメントしながら卓越した看護サービスを提供できる。医療施設において組織横断的に活動を行い、保健医療福祉に携わる人々の間の調整・相談役割を果たしながら、創造性をもった実践を重ねている。研究にも取り組み、医療・看護の質向上に貢献することができる。常時より、赤十字事業の推進に向けて組織的な取り組みを実施しており、災害発生時には、赤十字看護師として、状況に応じた活動ができる。（病院単位で活動できる）
集合教育 (off-JT)	<input type="checkbox"/> 新入職員研修 <input type="checkbox"/> 医療機器の安全使用（採用時） <input type="checkbox"/> 車椅子への移乗 <input type="checkbox"/> インスリン療法と看護上の留意点 <input type="checkbox"/> 注射技術 <input type="checkbox"/> 輸液・シリンジポンプ <input type="checkbox"/> 薬品管理 <input type="checkbox"/> 血液製剤の管理 <input type="checkbox"/> リフレッシュ <input type="checkbox"/> 看護必要度 <input type="checkbox"/> 新人に多い事故、誤刺、患者誤認防止 <input checked="" type="checkbox"/> 赤十字概論Ⅰ・Ⅱ（看護倫理Ⅰを含む） <input type="checkbox"/> 二次救命処置 <input type="checkbox"/> ナラティブ <input type="checkbox"/> 看護記録記載基準（2019まで） <input type="checkbox"/> 看護過程（2020から） <input type="checkbox"/> KYT <input type="checkbox"/> 多重課題 <input type="checkbox"/> 人工呼吸器装着中の患者の看護 <input type="checkbox"/> がん化学療法 <input type="checkbox"/> 院内外看護研究発表 ＊倫理的問題に気づき、倫理的ジレンマに陥った時赤十字の基本原則・倫理綱領に基づいて判断する	<input type="checkbox"/> 急変の前兆 <input checked="" type="checkbox"/> リーダーシップ <input checked="" type="checkbox"/> 看護倫理Ⅱ ＊倫理的問題に対応 <input type="checkbox"/> 2年目看護師研修（2012～） <input type="checkbox"/> フィジカルアセスメント（2014～） <input type="checkbox"/> グローバルヘルスレポート <input checked="" type="checkbox"/> は経験者等がレベルを申請する場合に受講済みであること 以下の研修はレベルⅢ申請までに受講する <input type="checkbox"/> プリセプター＆サポーター研修Ⅰ <input type="checkbox"/> 臨地実習指導者研修Ⅰ（2013～Ⅰを必須） <input type="checkbox"/> 赤十字救急法基礎講習（救急法受講前に必須） <input type="checkbox"/> 赤十字救急法救急員養成講習 <input type="checkbox"/> こころのケア（2012新設、2011までの災害看護概論受講者はクリア） <input type="checkbox"/> 災害看護概論（当院での受講を必須とする） <input type="checkbox"/> 災害救護演習（当院の災害看護概論を受講済であること） 同テーマの院外研修：内容を確認し置き換え可	<input type="checkbox"/> 問題解決思考 第一段階 <input type="checkbox"/> 問題解決思考 第二段階 <input type="checkbox"/> 看護倫理Ⅲ <input type="checkbox"/> 看護管理 ＊倫理的問題の解決 <input type="checkbox"/> グローバルヘルス	<input type="checkbox"/> グローバルヘルス	
職場内教育 (OJT)	<ul style="list-style-type: none"> 基礎看護技術 看護過程の展開 代表的疾患と看護 				
自己教育 (SD)	<ul style="list-style-type: none"> 看護協会教育研修 専門領域研修 	<ul style="list-style-type: none"> 看護協会教育研修 院外学術集会 専門領域研修 	<ul style="list-style-type: none"> 看護協会教育研修 院外学術集会 各学会認定資格研修 専門領域研修 	【専門領域研修】 <ul style="list-style-type: none"> 呼吸管理 スキンケア 危機介入 感染防止マネジメント 家族看護 リスクマネジメント ストレスマネジメント 組織論とアサーティブネス 看護管理 医療経済 	<ul style="list-style-type: none"> 赤十字安全法講習（救急法、水上安全法、雪上安全法、幼児安全法、健康生活支援講習） 赤十字安全法指導員研修
レベルに関係なく受講する研修など	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全講習会 ICT研修 NST研修 ホスピタリティ研修 院内の各研究会の主催する研修（呼吸ケア、緩和ケア） 院内看護研究発表会 				